



早期の河川整備が必要な猿ヶ瀬川

河川内の雑草林対策は

町長 堤外地内の撤去工事進行中



丹 邦敏 議員

(問) まち・ひと・しごと創生法総合計画策定の取り組みについて伺う。

(答) 8月に町民アンケートを行った。12月末に有識者会議に諮り、年を改め最終調整を行う。一番目の目標は雇用の場を作ること。

(問) 堤防改修は県の事業で、平成22年度から20年計画で着手し、堤工事も進行中。猿ヶ瀬川排水については、県が防衛省と協議中。

(問) 一ツ瀬川堤防の決壊による災害や河川内の雑草林による二次災害の恐れがある。県に対し堤防工事の短縮と雑草林の撤去の要望を求める。

(問) 各地域の道路側溝無蓋の危険について伺う。

(答) 蓋があると安全性は増すが、道路改良要求が多く、事業推進を図るために必要最小限度の蓋の設置で施工。蓋の設置には時間を要する。

(答) 文献は見ていないが、ダムや富田浜入り江にヘドロはあると思う。対策協議会で要望すれば私も一緒になつて要望し、早く清流に戻るよう努力します。

TPP大筋合意の評価は

町長



吉田 貴行 議員

非常に遺憾だと考えています

(問) TPP(環太平洋連携協定)の大筋合意の町長の評価と本町への影響は。

(答) 大筋合意では関税分類上の細目ベースで

重要5品目の30%、農林水産品全体では81%で関税撤廃を容認しています。このことについて非常に遺憾であると考えています。また、本町の農畜産物に影響が出ることは避けられないと考えています。

(問) 空調機の取替えについて改善はどうなっているのか。

(答) 希望届けを提出し

(問) 一ツ瀬川の生態系再生の取り組みについて、長い間濁水とされて来ているが、他県の

(問) ランブルや訓練の実態はどうなっているのか。

(答) 近年、緊急発進回数が増加しています。

(問) 国民健康保険税の引き下げについて。

(答) 被保険者数、世帯

(問) 各地域の道路側溝無蓋の危険について伺う。

(答) 文献は見ていないが、ダムや富田浜入り江にヘドロはあると思う。対策協議会で要望すれば私も一緒になつて要望し、早く清流に戻るよう努力します。



新田原基地正門

めざせ新しい町づくり

町長 防衛省と協議中



吉田憲市 議員



4月開館で整備が進む複合施設

問 人口増対策について。

答 自衛隊官舎60戸、公営住宅38戸の空室があります。環境整備を行なながら町内に住んでもらえる様、防衛省に要請する。一般住宅については、

問 多目的複合施設の活用について。

答 年間の集客目標12万人、6000万円の維持管理費を予定しており、様々な施策を講じながら複合施設の活用に努めていきたい。

問 有能な人材育成について。

答 奨学金は月額大学

問 新しい町づくりについて。

答 農業については、やりがいがあり収益性の高い持続性のある農業を目指す。農産物の

問 新規就農者・担い手対策の対策は。

答 新規就農者の事業は、国の青年就農給付金と町単独の就農支援給付金事業に取り組んでおり。さらに県の新規就農者相談センターの活用と町の農業経営アドバイザーによる巡回指導や児湯農業改良普及センター等の関係機関と連携して支援を行っていく。

問 施設園芸導入加速化支援事業の取り組みはでききれないのか。

答 一農家では無理なので、農協が主体となつて取り組む姿勢が必要。先の農業を考えれば積極的に取り組んで良い事業である。

生2万円、高校生1万円を貸与し償還期限は貸与期間の2倍となって居り、平成27年度は

19名が利用している。今後は、資金の増額や償還期限について教育委員会と話し合いを行っていく。

問 航空資料館を中心とした拠点づくりについて。

答 航空資料館は集客交流の場となる。防衛省と協議しながら、新しい町づくりの中で建設に向け考えていきた

加工施設・直売所・レストラン等について、新しい町づくりの中での検討していきます。

期待される次世代施設園芸団地 (JA宮崎中央・国富町)

問 平成27年農林業セセの調査の比較は。

答 就農人口は、139人であり5年前よ

り17・3%の減少、耕作放棄地は約50・3haで平成22年の50haとほとんど横ばいである。年齢別では、40代以下が281人の20・2%、3470歳以上は483人の8%と高齢化が進んでいる。

問 新規就農者及び担い手育成では、農協の各部会の組織を活用して育成に努めている。認定農業者経営改

町長 国県農業団体と連携支援



永友正章 議員

新規就農者・担い手対策

い手育成の支援と今後の対策は。

答 新規就農者の事業は、善緊急支援事業・施設園芸導入緊急支援により、機械・資材の補助を行っている。

問 20年以上経過してて替えと同時に次世代施設園芸導入加速化支

援事業の取り組みはでききれないのか。

答 一農家では無理なので、農協が主体となつて取り組む姿勢が必要。先の農業を考えれば積極的に取り組んで良い事業である。



新富町発展の起爆剤と成り得るか

基地の部隊運用変更への対応は

町長



高野賢治 議員

防衛省に対し要望書を提出

問 日向大橋開通と複線化は町浮揚の好機。橋の完成を起爆剤とした町発展の為の政策は、

答 日向大橋は28年10月に完成します。29年

度末には10号線が全て4車線化になります。

町内企業や商工業関係団体等との情報共有や

問 自衛隊関連の部隊・研究施設・病院等又は企業の誘致につい

答 経済的及び地域活性化への影響が懸念され、議長と町長の連名で防衛省に対し、部隊編成に伴う要望書を提出しました。

問 新田原基地の部隊運用変更の影響と町の

対応は。

連携強化も図りながら、新たな事業やビジネス展開も推進します。

答 これまで企業誘致の中でも航空関連も含めて取り組んできているが実現していない。今後もPRも含めて努力していきます。

ての考えは。

これまで企業誘致

次年度以降に下富田地区内に避難施設の建設を予定しています。

答 商工振興基金の活用は。

答 店舗の改装・改修費用、個店の活性化につながる販売促進費等の補助、中小企業融資制度による保証料と利子補助を実施している。

答 残念ながら活用されていない状況が出て来ています。

答 いかが大事である。

答 これが大事である。

答 とが大事である。

答 これは大事。

答 うことは大事。

答 が大事である。

答 害が激しい所には、特

別な意識づけをするこ

とが大事である。

消防車の運転免許取得助成金を

町長



圖師 孝一 議員

消防団と十分議論していきたい

答 いたい。
消防団と十分議論していきたい。

答 いたい。
消防団と十分議論していきたい。

答 いたい。
消防水利として畑地灌漑用水（畑かん）を利用してはどうか。

答 消防団には畑かん用の立ち上げも配置している。近くに畑かんがあればそこからの水利確保は大事なことと

問 道路交通法改正で、順次、団員が入れ替わると車種により運転できなくなる可能性があるが、運転免許取得について、補助をして貰

答 利用すべきだ。町営住宅は低所得者の救済が原点であるが、健全な納税をしている側の住民にも恩典があるべきだ。新システムの町営住宅の建設を強く希望する。

答 町営住宅の空地に

ついては、規定概念で

なく多角的に考

える。

答